

2017年2月15日

【少しずつバリアフリー化】その 12

施設のバリアフリー化はできても、施設の周辺環境を変えるのは不可能だと思っていた。でも、やってみたらできました。道路の新設とか、車両の制限といった大仰なことではありません。近くの交差点の音響装置付信号機、通称ピヨピヨカッコーの時間延長です。

ピヨピヨカッコーと聞いて、「あー、あの四つ角の交差点で鳴ってる音のことか」と思い出す方も多いでしょう。しかし、ピヨピヨが鳴っている時と、カッコーが鳴っている時では、青になっている信号が違うのを知っている人は、少ないかもしれません。

そう、ピヨピヨカッコーは、どの方向の信号が青なのかを、目の見えづらい人へ、音で伝えているのです。

神奈川県民ホールのある日本大通り駅のそばに、大さん橋入口という大きな交差点があります。ここの信号でピヨピヨカッコーが鳴っているのは、朝の7時から夕方5時まででした。時間が短いのは近隣住民への配慮です。しかし、交差点付近には人家もマンションもありません。そこで、信号を管轄する神奈川県警に相談すると、県警から当該地域の自治会へ連絡が行き、時間延長しても問題ない、となりました。

その結果、現在は朝の7時から夜の10時まで、ピヨピヨとカッコーが鳴いています。

これで夜のコンサート帰りのお客様も、遅くまで観光を楽しんだ方も安心です。

自治会と神奈川県警の方々に、この場を借りてお礼申し上げます。

今後もフェイスブックやホームページで、“少しずつ”進むバリアフリー化を報告していきます。

